

## 自己評価報告書（2018年度）

洗足学園小学校

### 1. 学校教育目標

- ・ なにごととも自分で考えて行動のできる子
- ・ 大きな夢を持ち、粘り強くがんばる子
- ・ 人のためになることをすすんでできる子

### 2. 本年度に重点的に取り組む目標・計画

- ・ 学力の充実を図り、信頼される学習指導と進路指導をおこなう。
- ・ 代表委員会を児童会へと発展させ、児童の主体性をさらに育む。
- ・ ICTの活用を、広く本格的に進める。
- ・ 総合的学習の一環であるたてわり活動を通じて思いやりの心を育む。
- ・ 道徳の授業で、児童同士の議論を深める。

### 3. 評価項目の達成および取組状況

評価項目	取組状況
教育課程・学習指導	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 道徳教育の内容の充実を図った。</li><li>・ 3年生は一人一台のiPadで学習の効果を上げた。</li><li>・ 全教科が全学年でのシラバスを用意し、保護者に配布した。</li><li>・ 「日記漢字」「筆算検定」など本校独自の取り組みで、基礎学力の定着に努めた。</li></ul>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 進路サポートルームを放課後に開放し、児童の進路相談や自習に活用することができた。</li><li>・ 「受験体験座談会」を開催し、卒業生保護者から在校生の保護者に対して、受験の体験を話してもらい機会を設けた。</li><li>・ 6年保護者に進路面談をおこない、適正な進路についてアドバイスをおこなった。また、卒業生からの体験談を聞く機会を設けた。</li><li>・ 中学受験終了後、受験レポートを6年生児童と保護者から提出してもらい、次年度以降への参考資料に加えた。</li></ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"><li>・ マナー教育を進め、自覚ある行動がとれるよう指導した。</li><li>・ 児童の代表委員会が、自らの問題を考え、その解決を図った。</li><li>・ 臨床心理士の資格を持つ「スクールカウンセラー」を配置し、教育上配慮の必要な児童の保護者との面談、児童本人とのカウンセリングをおこなった。</li><li>・ 「スクールカウンセラー」から、配慮の必要な児童への関わり方についての助言を受けて指導に生かした。</li></ul>

安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校安全管理マニュアル」を作成し、教職員に周知した。</li> <li>・避難訓練（2回）を実施した。</li> <li>・2学期始業式には、引き取り訓練をおこなった。</li> <li>・警察と交通安全協会による、低学年向けの交通安全教室を開催した。</li> <li>・JR と東急電鉄が協力して低学年を対象とした電車の乗り方のマナーに関する安全教室を開催した。</li> </ul>
研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月に2日間の校内研修をおこない、ICTの活用法について指導を受けた。</li> <li>・湘南白百合小学校でおこなわれた「関東地区教員研修会」に参加し、各教員が各教科、各分野で研修をおこなった。</li> <li>・電子黒板、iPadの活用法の研修を随時おこなった。</li> </ul>
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校便り、学年便りを月に1回発行し、連絡事項の徹底と教育方針の周知に努めた。</li> <li>・ホームページで、「先生からのレポート」として、各種行事の写真や児童のコメントなどを発信した。</li> </ul>
教育環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・iPadを授業で活用するため、Wi-Fi環境の整備を進めた。</li> <li>・3年生には一人一台のタブレット端末を持たせた。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校たてわり活動を進め、昼食会やレクリエーションを実施した。</li> <li>・オーケストラの演奏会を夏と冬に開催した。特に、サマーコンサートでは、新入団の児童の成果も発表した。</li> <li>・12月の同窓会総会に合わせ、ホームカミングデーとして、卒業して10年、20年・・・という卒業生を学校に招待した。</li> </ul>

#### 4. 総合的な評価結果

従来取り組んできたことをさらに充実させることができ、教科指導についての効果が上がっていると評価される。また、ICTの活用が進み、教育効果を上げることができた。進路指導も例年同様の取り組みをおこない、進学実績において過去最高の実績をあげることができた。また、食物アレルギーのある児童の把握が進み、確実に緊急時への対応や日常の備えができた。児童への対応がきめ細かくおこなわれるようになった。

たてわり活動が充実し、より異学年の交流を活発にすることができたとともに、児童の責任感やリーダーシップを培い、思いやりの心を育むことができた。

道徳教育が充実し、活発な議論を通して、児童の行動や考えが良い方向へ深まった。

昨年並みの出願者があり、高倍率の入学試験がおこなえた。これは、本校の教育内容が評価されている証左と考える。